

鍛錬(タンレン) 錬(ねる)は金属を熱してやわらかくすること。鍛(きたえる)はそれを打ち固めること。これをくり返して金属はりっぱに成る。学問・技芸に励むことのたとえに使われる。

地殻(チカク) 殻は卵や実などの表面をおおっている“から”。地球の外表の部分。

知己(チキ) 己おのれを知る者の意。自分の心をよく理解してくれる友人を言う。

逐鹿×(チクロク) 魏徴の詩に「中原また鹿をお逐う」の句がある。政権や高位を得ようとして群雄の争うことをたとえたもの。今は、選挙戦にこの語を使う。

知悉×(チシツ) 悉は悉皆(ことごとく)。知りつくす意。

褌奪×(チダツ) 褌は衣をはぐこと。奪は大鳥(佳)を横取りすること。官職などを取り上げる意に用いる。

嫡流(チヤクリュウ) 本家の家筋。転じて、正統の流派。

抽象(チェウショウ) 抽は引き抜くこと。象は固有の形象。具体的な概念から、それぞれに固有のものを引き抜き、全体に共通な属性を一般的な概念としてとらえること。

中枢(チュウスウ) 枢は枢機を参照。最も大事な物・所を言う。 [例] 社会の中枢・中枢神経

抽籤×(チュウセン) 籤はくじ。くじを引くこと。今は“抽選”で代用している。

鑄造(チュウゾウ) 鑄の本字は鑄いがた型にとかした金属を流し込んだ形を表わしてい

る。鑄型で道具を造ること。

躊躇××(チュウチュウ) 躊は足をとどめる、躇はチヨ佇(たたずむ)。進もうか、退こうかと決心しかねて足を止めること。ためらう、ぐずぐずする意に使う。

厨房×(チュウボウ) 厨は料理場、房はへ部屋。台所のこと。

稠密×(チュウミツ) 稠は稲がよく茂ること。物のひどく込み合う意味に使う。 [例] 人口稠密

弔慰(チヨウイ) 死者をとむらい(弔)、遺族をなぐさめる(慰)こと。

重畳(チヨウジョウ) 畳も重なる意。いく重にも重なること。 [例] 山岳重畳
また、このうえなく満足だという意味に使う。 [例] ご無事で何より重畳